

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表: 令和8年1月9日

事業所: PARKすくすく

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	○			・共有スペース、個室など使い分けて活用している。 ・その日の利用児の状況により、利用場所の配置、 時間など配慮しながら活動できている。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		・配置基準は満たしており、体制加算も取得してい る。 ・利用人数によっては余裕がある配置とは言い難い 状況もあり、長期休暇などは短期アルバイトの雇用 を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になさ れているか	○			・手すり、エレベータがあり、車いすでも利用可能
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか	○			・事業所職員全員での事例検討や連絡会を実施 し、個別支援目標の共有などを実施している。(月1 回) ・毎日朝礼で振り返りや情報共有を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施 して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・アンケートだけでなく、日々の送迎時や、面談等 で、本人や保護者の意見や相談をうけ、職員で共有 を行い改善へ繋げている。
	⑥	この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で 公開しているか	○			法人のホームページ上で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげ ているか	○			法人内で順次行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・法人内の年間計画に則り実施している。加えて必要 に応じた研修を適時実施している。年に1回法人 全体での職員研修や法人内の児童事業所が集まり 集合研修を行っている。
適切な支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を 客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成して いるか	○			・面談を実施し、アセスメントシートを活用し利用児、 保護者のニーズを確認し作成している。ニーズの変 化に対応できるよう保護者との情報共有を実施して いる。
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセ スメントツールを使用しているか	○			法人内の児童支援に特化した共通アセスメントシー トを活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月の活動、週案等チームで話し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・個別、集団共に様々な活動を取り入れている。個 別支援計画に沿った活動ができるよう電子記録シス テムにてチームで共有し様々なメニューを組み合わ せている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支 援しているか	○			・平日と休日はそれぞれの課題に向けて設定を分 けている。 ・長期休暇や休日は、社会体験学習等平日にはで きない課題設定を実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わ せて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・発達段階やニーズに応じた個別活動と集団活動を 組み合わせ計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝礼で共有、グループ分け行う。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎日の朝礼で打ち合わせを実施し、活動内容と目 的を共有し、役割分担や気になるケースの確認をし ている。学校やご家庭からの情報も共有している。 ・電子記録システムで把握し共有や対策を実施して いる。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検 証・改善につなげているか	○			・電子記録システムにて写真や動画にて共有してい る。 ・保護者の閲覧も可能であり日々情報共有が可能
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回以上のモニタリングを実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っ ているか	○			ガイドラインの読み合わせ、確認を行いながら支援 を行っている。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理者が主に参画し、必要に応じて担当職員の参加も実施している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・毎日の送迎時、学校や各家庭との情報共有を行っている。必要な連絡を取り合い、調整を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・該当児童の受け入れなし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・相談支援事業所や保護者などからの情報提供に加え、必要性や依頼に応じて連携している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・必要に応じ、移行先から希望がある場合は保護者の同意を得たうえで情報提供を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・専門機関と連携し、定期的な研修、助言を受け、支援現場へ共有している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			・事業所併設に民間学童があり、日々の活動の中で交流できるよう工夫している。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・市自立支援協議会「子ども支援部会」へ毎回参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・電子記録システムにて日々の活動の様子が閲覧可能となっている。また、送迎時に状況等伝え、疑問等に応じるなど保護者とのやり取りを行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・児童発達支援管理責任者が実施している。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時や変更があった時、面談時等に説明を実施している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・適宜相談を受け付けており、必要に応じて関係機関を交えての対応を行っている。また、ニーズに応じて学校や医療機関等への情報共有を実施している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会を実施し、職員対ご家族だけでなくご家族同士での連携の機会を設定している。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情担当窓口を設置し、苦情があった場合は、マニュアルに沿った対応を迅速に行っている。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・電子記録システムにて保護者の閲覧が可能となり、日々の情報共有ができています。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報取扱について同意を得ている。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・スケジュールボードや絵カードなど視覚支援を用いて、児童に合わせたツールを活用している。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・マルシェを開催し地域交流をすすめている。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・法人でマニュアルを策定し、職員に周知を図っている。保護者へは契約時、面談時に説明を行っている。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・マニュアルを策定し、年2回以上防火・防災訓練を行っている。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・3か月に1回、虐待防止における研修と、毎月虐待に関する振り返りを実施している。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・計画書へ記載している。身体拘束は行わないよう事前準備や支援方法の模索、共有にて対応するよう努めている。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・契約時、モニタリング時に確認を実施している。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハットの場面があった際にはアプリに記録し、日々の朝礼で確認、共有している。また毎月、事業所連絡会にて他事業所の事例も共有している。